

## 進んで挨拶できる子どもがいっぱいの学校に

新学期がスタートし、あっという間に4月が過ぎていきました。校庭の木々は青葉を茂らせ、ツツジの花もきれいに咲いています。子どもたちは、新しい学年・学級での生活にも少しずつ慣れきており、教室や運動場などで毎日明るい笑顔や楽しそうな歓声を聞かせてくれています。新しく仲間入りした1年生も、上級生に声をかけてもらいながら、がんばって歩いて登校している姿や、教室で先生とひらがなや数字の勉強をがんばっている姿、運動場でなかよく遊ぶ姿など、微笑ましい様子が見られ、大変うれしく思います。

18日(土)の教育授業参観日には多数ご来校くださりありがとうございました。子どもたちの学習に臨む姿やがんばり、新しい学年・クラスの雰囲気等を感じていただけたと思います。引渡訓練も保護者の皆様のご協力のおかげでスムーズに引き渡しことができました。本当にありがとうございました。4月には、日本で震度5弱以上の地震が5回発生しています。万が一に備えるとともに、冷静に落ち着いて行動できるように日頃から意識しておく必要があります。ご家庭でも災害時の行動や登下校中の安全について話題にしていただき、子どもたちに意識させていただければ幸いです。

また、令和8年度PTA役員の皆様、PTA委員総会、PTA実行委員会へのご出席ありがとうございました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

さて、始業式で子どもたちに話した、広野小学校をよりよい学校にするために大切にしたい3つのキーワードの一つが「あいさつ」です。進んで挨拶ができる子どもたちが増えてほしいという願いを込めています。挨拶はもともと「心を開いて、相手に近づく行い」を表しており、「心と心の交わり」を示していたのです。その後、この言葉が広がり、「出会いと別れの言葉」「礼儀としてのやり取り」という意味になりました。つまり挨拶は人と関わる上で、重要な役割を担っているのです。

挨拶には右のような5つの良さがあると考えています。挨拶は、相手がいるから声をかけようと思ってするものです。相手の存在を認め、敬意を示し、大切に扱う。その積み重ねが「お互いに近づきたい」「良い関係を築きたい」というメッセージとなります。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 存在を認める</li> <li>2 仲良くなるきっかけになる</li> <li>3 場を明るくする</li> <li>4 印象の良さを与える</li> <li>5 感謝を伝えることができる</li> </ol> |
|--|

また、明るい挨拶は心理的安心感を創り出すこともできるとともに、相手にも好印象を持たれます。そして、「ありがとうございます。」「お願いします。」「なども自分の思いを伝える大切な挨拶です。家庭で、地域で、学校で、明るい挨拶が広がることを願い、これからも挨拶の取組を続けていきます。

ゴールデンウィークがあけると、5月23日(土)の運動会に向けて練習が始まります。熱中症に十分に気を付けながら、子どもたちの笑顔が輝く運動会を創ることができるよう練習に取り組んで参ります。引き続きご家庭での健康管理をよろしく願います。

今月も子どもたちの健やかな成長のため、そして、子どもたちの笑顔があふれる学校を創るよう教職員一同精一杯取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、ご理解とご協力、そしてご支援をどうぞよろしく願います。